

職員による自己評価

環境・体制整備

- ・利用定員と訓練室等スペースの関係が適切である。

業務改善

- ・職員の資質の向上のための研修の機会を確保している。

適切な支援の提供

- ・アセスメントを適切に行い、ニーズを分析したうえで計画を立てている。
- ・朝礼時に個別ケースについての申し送りやカンファレンスを行う。
- ・日々の支援の記録を取り、支援の検証などに繋げている。

関係機関や保護者との連携

- ・学校等の情報共有を行っている。
- ・インクルーシブな活動についてはコロナ状況下で困難であった。

保護者への説明責任等

- ・お子様の状況を保護者の方に伝え、共有理解をしている。
- ・行事予定や連絡体制については HUG を活用し発信している。

非常対応

- ・緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している。
- ・避難訓練については9月と3月に実施。

保護者による評価

環境・体制整備

- ・活動スペースは十分確保されている。
2Fの個室を状況に応じて使用している。
- ・職員の配置数や専門性は適切である。

適切な支援の提供

- ・ニーズや課題が客観的に分析され計画が作成されている。
- ・活動プログラムが固定化されないように工夫されている。

保護者の説明等

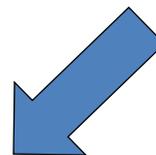
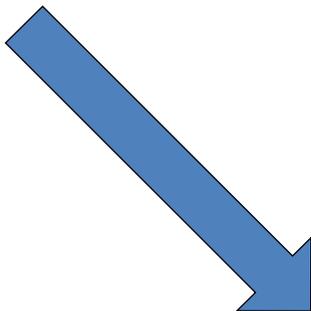
- ・支援内容・利用者負担について丁寧な説明がされている。
- ・日頃からお子様の状況を都度、HUGにてお知らせし、重ねて送迎時に保護者の方に伝え共有理解ができている。
- ・コロナ状況下で他施設等との交流が困難であった。個別支援計画書更新における面談については書面、メール、電話等の活用を行い、そのうえで送迎時等を利用して感染予防対策に努め、保護者からの了承を頂いた。
- ・苦情について。ご相談等は適宜受け付けている。契約時に苦情対応についてご説明している。個人情報にも鑑み、今後も真摯に対応を行う。

非常対応

- ・防災等のマニュアルを策定し、保護者の方に説明している。

満足度

- ・お子様は通所を楽しみにしている。
- ・事業所の支援に満足している。



事業所内での分析

【共通点】

- ・個別の状況に基づき支援計画が作成され、活動プログラムも個別の状況に応じて行っている。
- ・個人情報に留意している。
- ・お子様や保護者の方への情報伝達に配慮している。

【相違点】

- ・開所2年目ではあるが、コロナ状況下で施設内での時間をかけての面談や施設見学会等、施設内に保護者の方が訪れる機会が少なかった。HUG等でのお知らせを活用し、送迎の都度の場面でのお伝えも行っているが、より良く密接なコミュニケーションを目指したい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ハード、ソフトともに柔軟に整え、事業所の環境もお子様を自然な形で迎えられ、なにより「個」に寄り添って療育を行う。
- ・お子様を取り巻く環境、家族、学校、キッズ、他事業所との連携を深め、特にお母さまのご負担の軽減を図るべく相談業務に力を入れている。

事業所の改善点

- ・一般的な住宅であるため完全なバリアフリーではないが、危険個所の改善策はとっている。今後も都度改善を行う。
- ・PDCAサイクルの活用にあたり、日々の業務を整理し、すべての職員が主体的に関わり易くして業務の改善を図る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も事業所アンケートにご協力頂きありがとうございました。

昨年は開所して間もない状況でのご回答を頂き、改善に努めて参りました。

今年度は利用者の方も増え、沢山の笑顔と成長が見られ事を改めて感謝申し上げます。

当事業所は戸建てでございます。階段等もありますが、日常生活には問題の無い範囲でバリアフリー化をしております。全てをバリアフリーで日常生活動作の機能を下げずに、当たり前が向けられる環境と理解しております。

日々のやり取りはサービス提供記録や、メール・電話に加え送迎時にお伝えしております。

事業所にお越しいただき、個別に事業所相談支援と言う加算を頂いてのご相談にも対応しております。

今後も様々な形式を取りながら、コロナ禍でも安心してご相談頂ける機会を作って参ります。

保護者会や他事業所等との交流はございません。開業当初より、保護者の皆様の就労や個人情報の観点から実施の難しさを感じておりました。今はコロナ禍と言うこともあり、極力非接触型での関わりを模索しております。

ペアレントトレーニングに関しましても、個別とグループがございます。いずれにしても、お時間を頂戴して行うことの難しさがございます。ペアレントトレーニングの基本的な取り組みに関しては、個別にご説明をさせて頂いたケースがございます。今後も個々のケースを鑑み検討して参ります。

ハミングバードは横浜市の指標、田中ビネーを参考にしております。

様々な検査結果等も療育の参考とさせて頂いております。

避難訓練は横浜市の指導により、全員参加が年1回。職員の訓練が年1回で取り行っております。全員参加の日はサービス提供記録にてご報告させて頂いております。

職員研修も、毎月実施済みです。

これらを踏まえ、研鑽に努めて参りました。

今後も気を緩めず、皆様の安心と安全を第一に、笑顔があふれる療育に努めて参ります。

事業所名 _____ ハミングバード荏田西 _____

児童発達支援管理責任者 _____ 高橋 由美 _____